

带状疱疹ワクチン予防接種

2025年4月より带状疱疹が定期接種になりました

対象者

定期接種	①下記の生年月日で過去に一度も接種を受けたことのない方	
	65歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日
	70歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日
	75歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日
	80歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日
	85歳	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日
	90歳	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日
	95歳	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日
	100歳～	大正15年4月1日以前生まれ
②接種日時時点で60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の辺の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方、及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方		
任意接種	③接種日時時点で50歳以上の方で上記①②に該当しない方	

※令和7年3月末までに不活化ワクチンを1回しか接種していない方は問合せ先まで要連絡。

助成額

★接種費用と助成額の差額は自己負担となります。

生ワクチン：4,000円（1回のみ） 不活化ワクチン：10,000円（2回まで）

助成期間

★令和8年3月31日まで

実施機関

★①②郡内医療機関及び県内の指定医療機関 ③郡内医療機関のみ

問合せ

★加美町 保険健康課 健康推進係 電話 63-7871

★色麻町 保健福祉課 電話 66-1700

申込み

★問合せ先にて予診票を受け取り、医療機関へ直接申し込み下さい。

带状疱疹とは？

带状疱疹は、過去に水痘（水ぼうそう）にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹ワクチンについて

	乾燥弱毒生水痘ワクチン (生ワクチン)	不活化ワクチン (シングリックス)
ワクチンの種類	生ワクチン病原体となるウイルスや細菌の毒性弱めて病原性をなくしたものを原材料として作られています。	不活化ワクチン病原体となるウイルスや細菌の感染する能力を失わせた（不活化）ものを原材料として作られます。
投与方法	皮下注射	筋肉内注射
回数	1回	2回 (1回目の2ヶ月後に2回目を接種)
予防効果	約70%	90%以上
効果持続期間	5年程度	9年以上
助成額		
窓口負担額	5,900円	1回目12,550円 2回目12,550円
副反応	注射部位の腫れや痛み：5%以上 皮膚の発疹や倦怠感：1～5% 関節痛：1%未満	注射部位の腫れや痛み：10%以上 皮膚の発疹や倦怠感：1～10%未満 関節痛：1%未満
長所	1回で済む、値段が安い	持続期間が長い
短所	• 持続期間が短い • 先天および後天性免疫不全、または免疫抑制状態の方は接種できない	• 2回接種が必要 • 値段が高い